

2024 年 11 月 15 日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

高用量メトトレキサート療法における OAT3 阻害作用を有する DPP-4 阻害薬の併用によるメトトレキサートの排泄遅延に関する検討

### 2. 研究責任者

海南病院 薬剤部 石田 貴啓

### 3. 研究の概要

メトトレキサートは腎臓から排泄されますが、非ステロイド性抗炎症薬、テトラサイクリン、フェニトイン、プロベネシド、ペニシリン、シプロフロキサシンなどの併用により、メトトレキサートの排泄が遅延することが知られています。メトトレキサートと有機アニオントランスポーター3 (OAT3) 阻害作用を有する DPP-4 阻害薬の併用により薬物間相互作用の可能性が考えられます。本研究では OAT3 阻害作用を有する DPP-4 阻害薬の併用と OAT3 阻害作用を有しない DPP-4 阻害薬の併用について、実際のメトトレキサート投与後における 48 時間および 72 時間後の血中濃度変化について、調査を行います。

### 4. 研究方法

#### ① 対象となる患者さん

2021 年 1 月～2024 年 10 月に当院血液内科にて高用量メトトレキサート（高用量 MTX）を実施した患者さんで、既往歴に糖尿病があり、DPP-4 阻害薬を併用した入院患者さん。高用量 MTX 療法は、Hyper-CVAD/MA 療法 (MTX : 200mg/m<sup>2</sup> を 2 時間かけて投与し、800mg/m<sup>2</sup> を 22 時間かけて投与)、大量 MTX 療法 (MTX : 3500mg/m<sup>2</sup>)、MPV 療法 (MTX : 3500mg/m<sup>2</sup>) とします。

#### ② 使用する試料等

残余検体：使用なし（追加検査等はありません）

カルテ情報：外来受診や入院時の採血結果、診断時の検査方法やその結果、CT 画像検査所見、年齢、性別、臨床経過といったカルテ記事記載内容を

使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますがその際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連海南病院 薬剤部 石田 貴啓

電話：0567-65-2511（代表）